

カンボジアへの投資 中小企業のカンボジア進出の実例



2013年12月3日
株式会社 春うららかな書房
代表取締役社長 道下昌亮



代表取締役: 道下 昌亮
資本金: 8,445万円
事業内容: 書籍卸商社、販売ソフトの企画・提案・営業支援、ネット通販事業
売上高: 29億円(2013年3月)
従業員数: 60名(パートタイマーを含む)
本社: 〒104-0061 東京都中央区銀座8-10-8-9F
TEL:03-3569-0552 FAX:03-3573-0552

支店・営業所

和光CRC(コミックレンタルセンター)

〒351-0101 埼玉県和光市白子3-8-15

戸田物流センター

〒335-0027 埼玉県戸田市氷川町3-8-20京葉流通倉庫株式会社

戸田支店 第5営業所内

福井物流センター

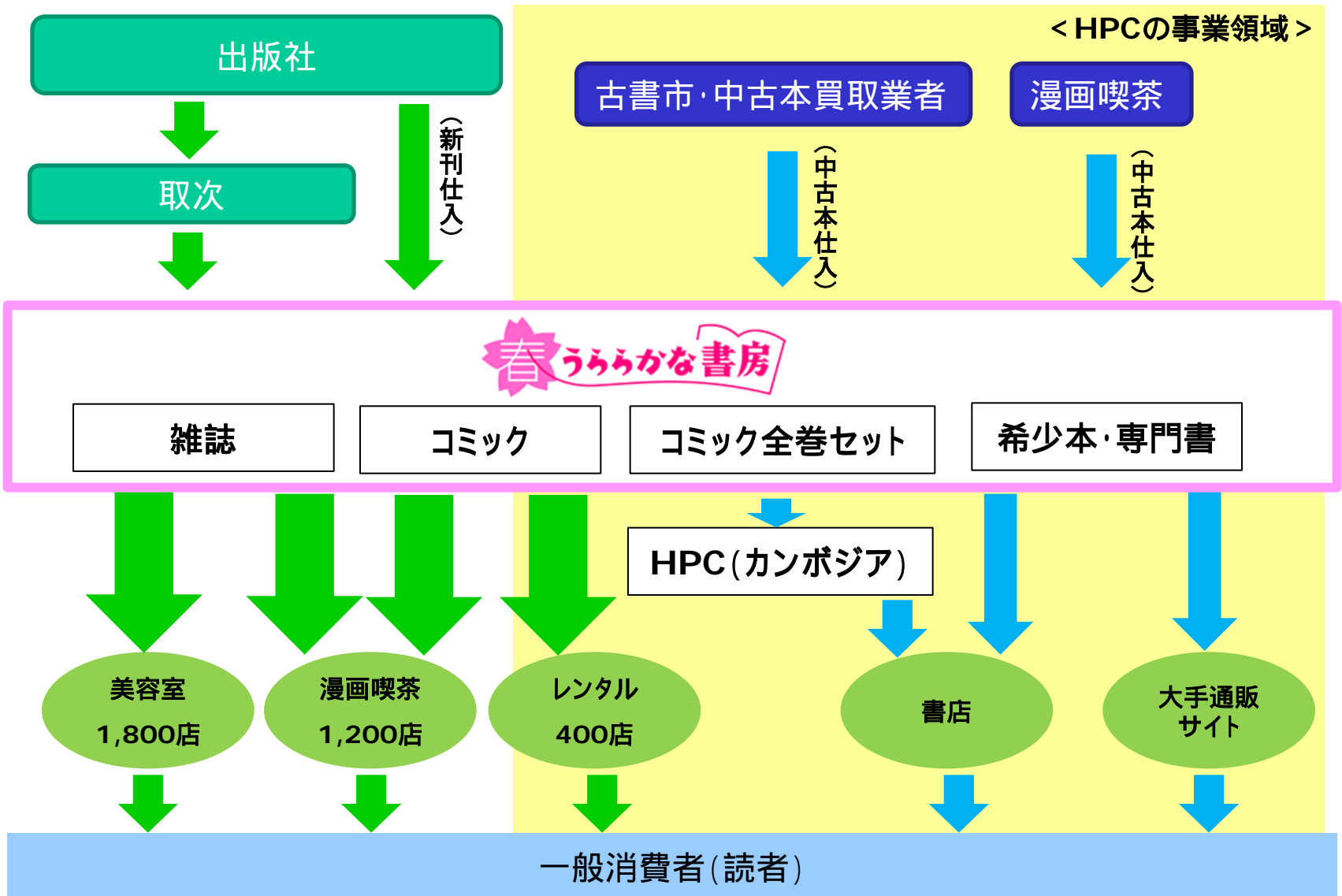
〒910-0829 福井県福井市林藤島町16-8 濃飛西濃運輸株式会社 福井支店内

海外子会社

ハル・ブノンペンコミックセンター(HPC)

従業員数: 100名(駐在員1名+事務スタッフ15名) 資本金:50万USドル

1. 春うららかな書房のビジネスモデル



2. 卸先業種別マーケットシェア

「複合カフェ」
向けコミック卸しの
市場シェア

占有率

約 **41** %
(当社調べ)

山手線内のターミナル駅に隣接する店舗
のシェアは約70%

「コミックレンタル店」
向けコミック卸しの
市場シェア

占有率

約 **70** %
(当社調べ)

株式会社トーハンとの共同事業を含めると
業界トップシェア

「美容室」
向け雑誌卸の
市場シェア

占有率

約 **0.9** %
(当社調べ)

全国に20万店あるといわれる美容室の
うち1,800店舗(2013年8月末)に雑誌
を供給

3 . カンボジアの経済環境とビジネスコスト

(1) 経済指標 2010年 出典: JETROホームページ

項目	指標及び数値
首都	プノンペン
人口	1,340万人
名目GDP	11,629百万米ドル
1人あたり名目GDP	814米ドル
実質GDP成長率	6.0%
消費者物価上昇率	4.0%

(2) ビジネスコスト 講演者のプノンペンでの経験に基づく

項目	金額
工業用地価	15 - 50米ドル / m ²
工業用賃料	1.0 - 2.5米ドル / m ²
商業用地価	1,000 - 4,500米ドル / m ²
商業用賃料	8 - 25米ドル / m ²
労働コスト	100 - 1,000米ドル / m ²
電気代	0.2 - 0.25米ドル / kwh

4 .カンボジア子会社の概要と組織体制

ハル・プノンペン・コミックセンター (HPC) は、中古品物流機能及び管理機能の中核として機能

概要

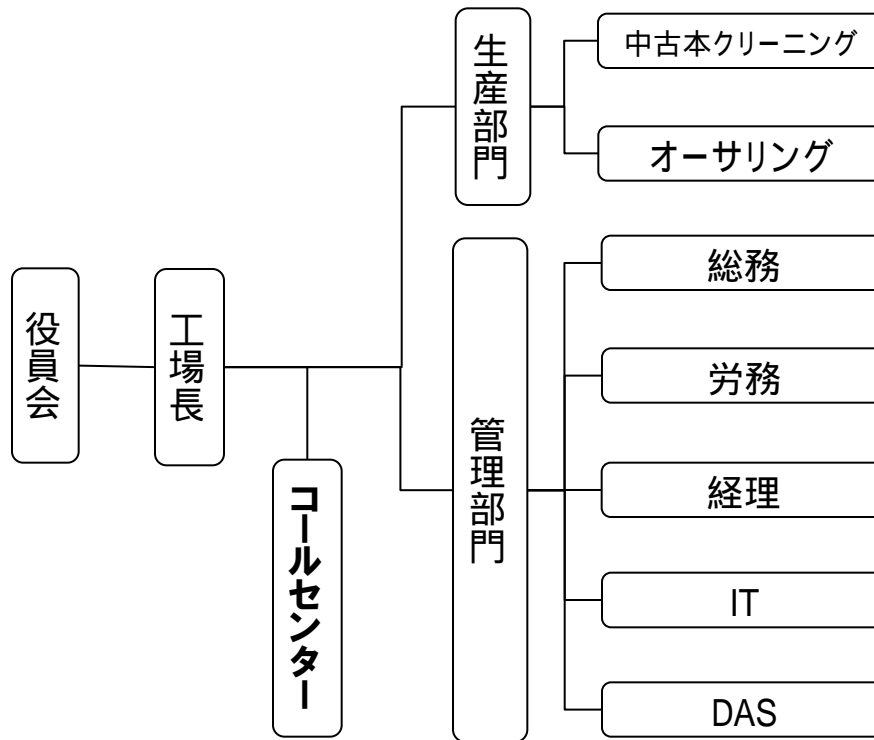
	詳細		
社名	Haru Phnom Penh Comic Center Co., Ltd.		
設立年月	2010年7月	敷地面積	3,000M2
資本金	125,000ドル	作業面積	1,500M2
従業員	100名		
スタッフ	16名(現地採用日本人1名含む) 全員日本語可能		
ワーカー	84名		
所在地	プノンペン経済特区内 (カンボジア王国プノンペン市)		

外観



組織と体制

現在、弊社のバックヤード業務の大半はカンボジアで実施されており、マネージャークラスはほとんどがカンボジア人であり現地採用。また全員日本語を話せ、理解できる。現地でも有数の雇用創出先として政府に認知されている。



5.カンボジア子会社の作業風景

中古本クリーニング



オーサリング



コミック在庫



毎月10万冊以上の中古コミックを日本から輸送し、クリーニングして日本に再出荷している。また、カンボジアスタッフによる書籍・コミックの電子書籍化事業も行っている。

6 . カンボジア子会社のスタッフ紹介

HPC 各部署マネージャー (うち日本人2名、全員日本語会話可能)

生産部門・・・3名のスタッフが100名のワーカーを管理運営し、自律的に生産管理を行っている。

管理部門・・・13名のスタッフを配置し、日本側のオフィス業務をアウトソーシングしている。



工場長



生産責任者



生産担当 (2名)



オーサリング担当 (2名)



総務担当



労務担当



IT担当



経理担当 (3名)



DAS担当 (2名)



営業事務担当 (2名)



コールセンター

7. 弊社が利用した投資制度

適格投資プロジェクト（QIP）制度

改正投資法（2003年改正）に基づき、カンボジア政府から適格投資プロジェクト（Qualified Investment Program : QIP）として投資ライセンスを与えられた場合、下記の優遇措置を受けることができる。

法人税の免税（最大9年間）

特別償却制度（選択制）

生産設備及び建設材料の免税輸入

輸出税の100%免税

QIP分類に応じた生産材料の輸入免税

1) 国内消費志向型・・・輸出品の生産投入材に限り免税

2) 輸出志向型・・・原材料、生産材、副資材の免税

3) 裾野産業型・・・原材料、生産材、副資材の免税（ただし、製品を輸出企業に100%輸出しなかった場合は、免税措置の適用なし）

カンボジア開発評議会（CDC）、カンボジア経済特区特別委員会（CSEZB）、経済特区（Special Economic Zone : SEZ）

カンボジアの経済開発を管轄するカンボジア開発評議会（Council for Development of Cambodia : CDC）内に、経済特区（Special Economic Zone : SEZ）の利用促進のために、カンボジア経済特区特別委員会（Cambodian Special Economic Zone Board : CSEZB）が設置されており、経済特区（SEZ）に進出した企業は、そこでカンボジアの政府サービスをワンストップで享受することができる。

8. 投資申請手続きと認可スピード

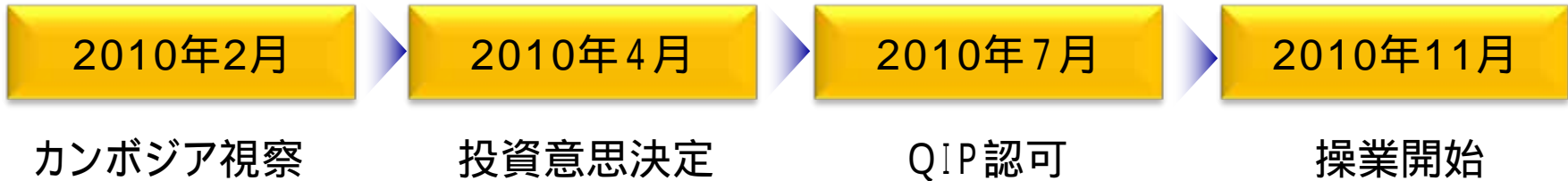


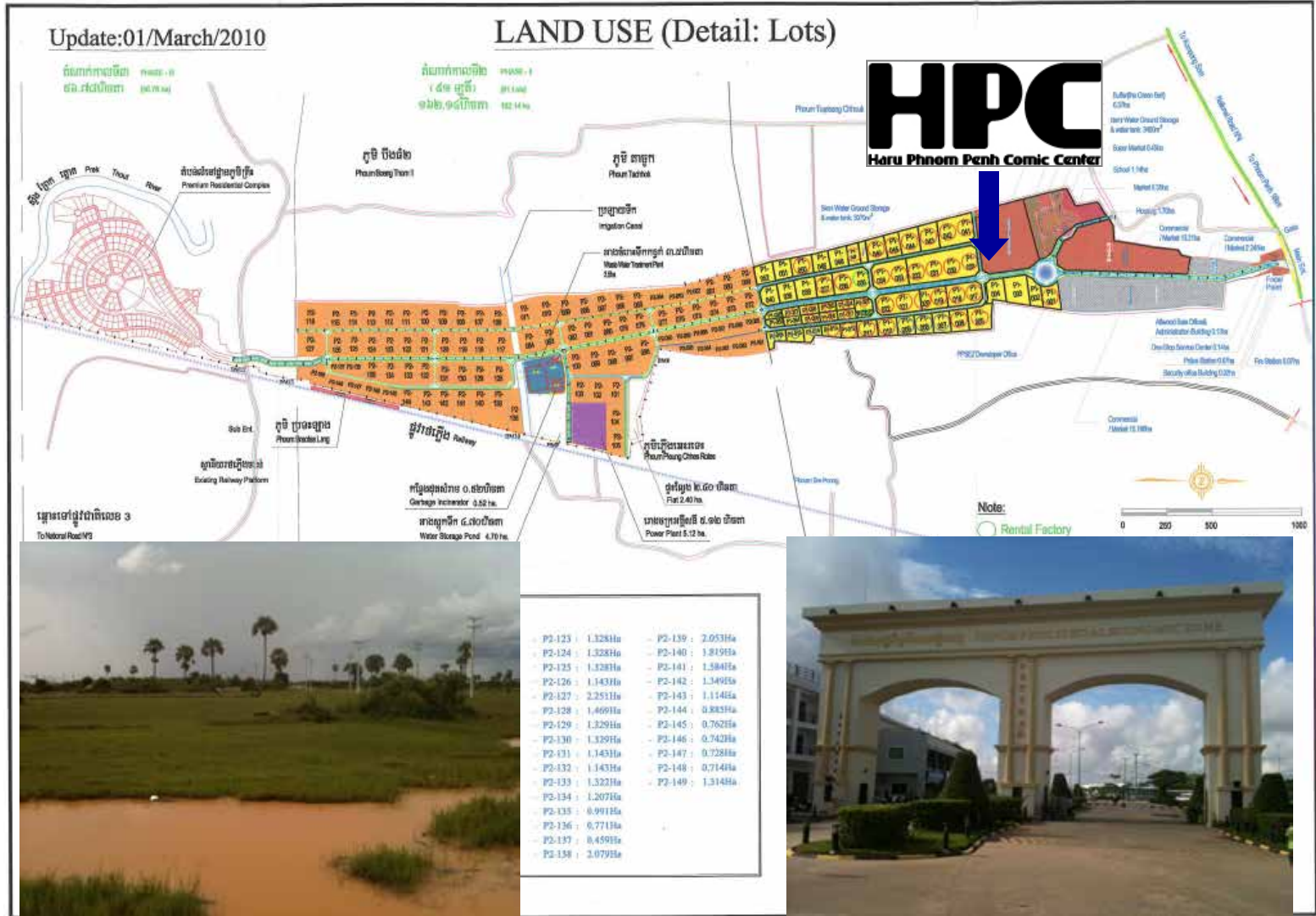
表5-10-2 適格投資プロジェクト申請と投資関連登録/許可の手続

手順	申請/許可	内容/項目
1	QIP申請書草案の提出	下記書類を添えて、QIP申請書式に英文で記入し、草案としてCDCに提出: <ul style="list-style-type: none"> - 土地永借契約 (Perpetual Lease) または工場賃貸借契約書の元本 (公証人による認証要) - 工場所在地を示す地図 - 会社登記簿または親会社の定款 (翻訳証明要) - 親会社の代表者によるカンボジア法人の全従業員の任命書 - 全ての従業員のパスポート写真 - 全ての従業員の写真 - 警察による、全ての従業員の無犯罪証明 - 製造工程表 (環境負荷確認用)
2	サイン済公式QIP申請書の提出	下記書類を添えて、クメール語で記載された公式のQIP申請書をCDCに提出 (サイン要) <ul style="list-style-type: none"> - カンボジア政府の書式による可能性調査 (Feasibility Study) - カンボジア政府の書式による会社定款
3	QIP申請料の支払い	CDCに申請料700万リエルを支払う
4	条件付き投資登録証明書 (Issuance of Conditional Registration Certificate :CRC) の発効	公式QIP申請書提出後3日以内に発行される
5	商業銀行残高証明の提出	会社の登録資本金の25%相当額に対する商業銀行の証明書をCDCに提出
6	付加価値税 (VAT) 登録申請書式の提出	CDCを通じて、経済財務省税務総局に対し付加価値税登録申請書式を提出
7	最終投資登録証明書 (Issuance of Final Registration Certificate :FRG) の発行	下記の書類と共に、CRC発行後28日以内にCDCによりFRGが発行される <ul style="list-style-type: none"> - 商業省への会社登録証明書 (会社スタンプ付) - パテント税登録証明書 (経済財務省税務総局) - VAT登録証明書 (経済財務省税務総局)
8	輸入関税免除申請書の提出 (マスターリスト)	工場建設資材、生産設備、原材料の輸入に関する輸入関税申請書 (マスターリスト) を、CDCを通じて経済財務省・関税消費税総局 (General Department of Custom and Excises: GDCE) に提出
9	工場操業申請書 (Factory Operation Application) の提出	CDCを通じて工場操業申請書を鉱工業・エネルギー省に提出
10	建築許可 (Construction Permit) 申請書の提出	CDCを通じて工場の建築許可申請書を土地管理・都市開発・建設省 (Ministry of Land Management, Urban Development and Construction: MLMUDC) に提出
11	環境評価申告書 (Environment Assessment Declaration) の提出	CDCを通じて環境評価申告書を環境省に提出
12	労働登録証 (Labor Registration) の提出	CDCを通じて労働登録を労働・職業訓練省 (Ministry of Labor and Vocational Training: MLVT) に提出

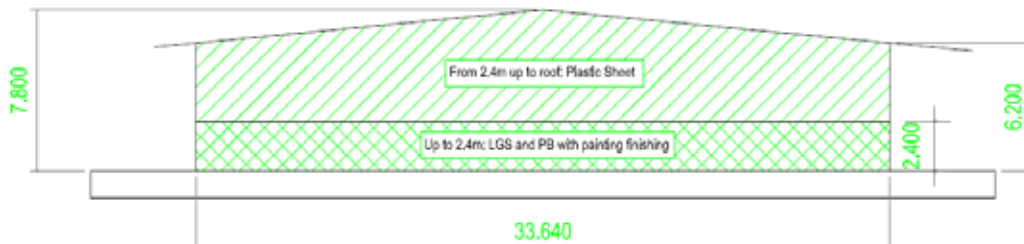
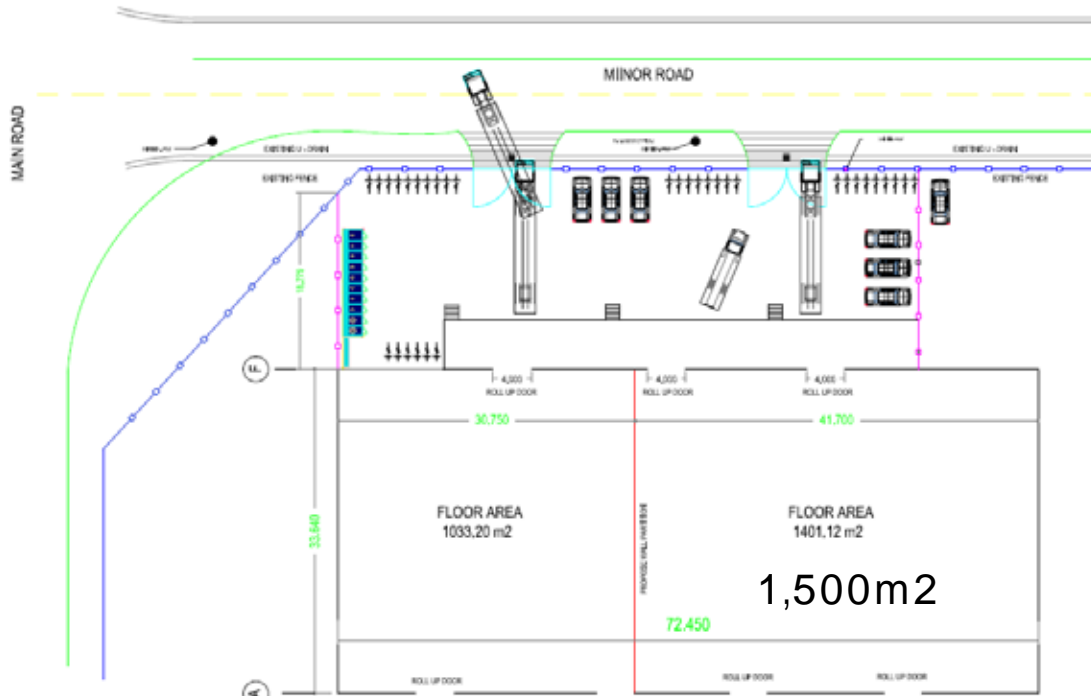
出所: Jaan Desk, CDC

経済特区 (SEZ) に申請手続きを依頼することにより、投資意思決定から3か月で適格投資プロジェクト (QIP) の認可を取得。

9 . PPSEZ (プノンペン経済特区)



10. 工場レイアウトと設備



Partition Wall between Haru & Dishells



11. プノンペン経済特区に立地した理由

1 . 労働資源確保の優位性

2 . インフラ整備と情報の集約

3 . 日本語人材確保の優位性

4 . 空港に近い立地

5 . 日系企業の進出実績

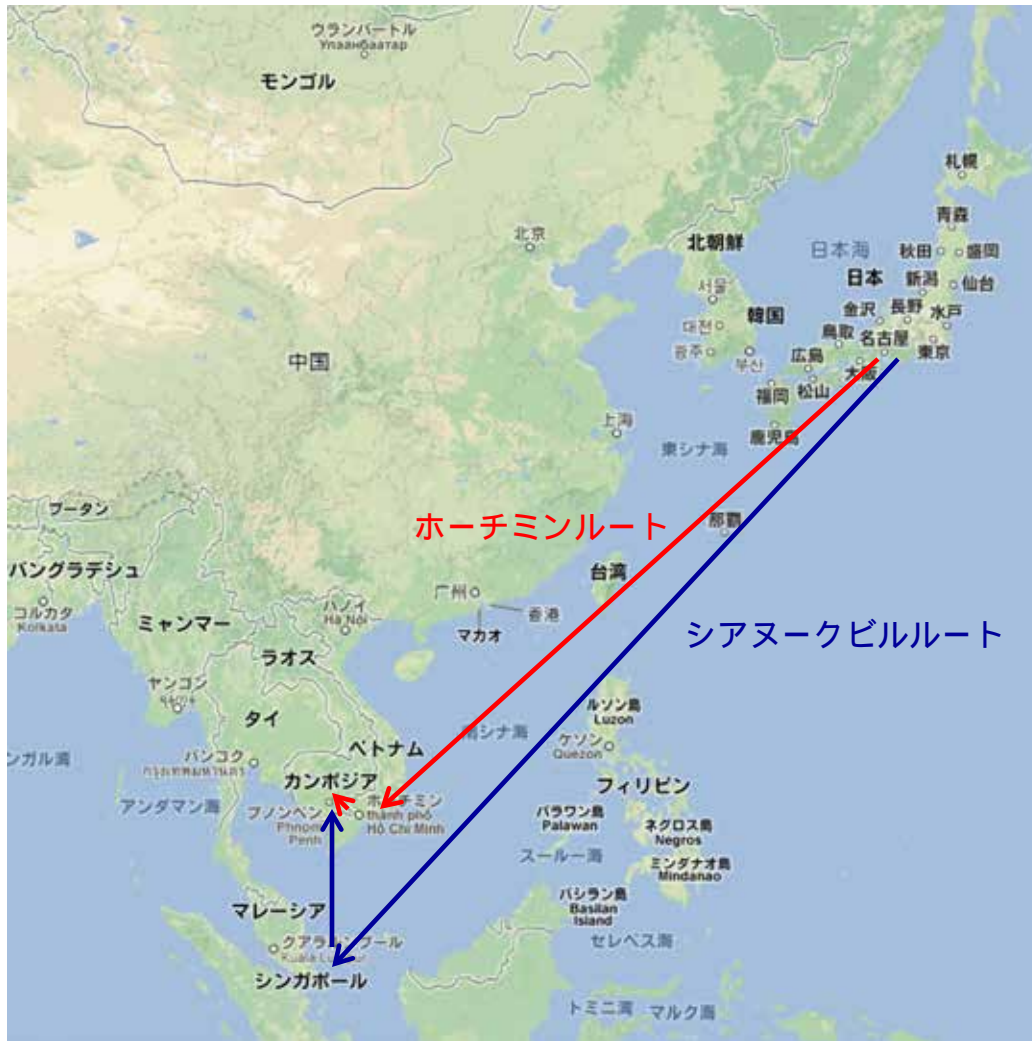
1 . 比較的 안전한 生活環境

2 . 食材や生活雜貨が比較的充実

3 . 物価が安い

4 . 日本人在住者が増加

13. 輸送経路と日数



ホーチミンルート

ベトナム（ホーチミン）を経由して、カンボジアに輸送するルート。弊社では、ホーチミン～プノンペン間を陸送しており、輸送日数は2週間。

シアヌークビルルート

シンガポール、カンボジアのシアヌークビル港を経由してプノンペンに輸送するルート。輸送日数は3週間。

1. 優秀なマネージャーへの技術移転

2. 労働者確保への対応

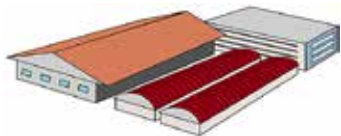
3. 労使関係への気配り

4. 政府役人との協調関係

5. コンプライアンス

15. 今後のカンボジアの活用方針

(1) 海外(特にアセアン諸国)への出版コンテンツ配信及び中古品物流の総合拠点としての機能強化



【中古品処理の集約物流拠点】



【書籍・雑誌の電子コンテンツ化】



(2) オフィス業務のアウトソーシング促進と本部機能の段階的移転



【HPCのバックオフィス機能拡充】

経費の削減

利益部門の人員強化

ご清聴ありがとうございました。